



校内英語暗唱大会

9月2日(水) 普通科では、スピーチ能力を身に付けることを目的として、英語暗唱大会が行われました。

出場した4名の皆さんによる熱戦が繰り広げられ、審査の結果、最優秀賞は普通科3年堀江大雅君、優秀賞は普通科3年齋藤駿季君に決定致しました。2人は学校代表として10月9日に行われる宮城県商業高等学校英語スピーチコンテストに出場します。



宮城県高等学校 新人陸上競技大会

9月11日(金)～14日(月) 第69回宮城県高等学校新人陸上競技大会が宮城県総合運動公園キューアンドエースタジアムみやぎで行われました。本校からは普通科2年浅沼りり花さんが砲丸投げとやり投げに、産業技術科2年菅野友愛君が8種競技に、産業技術科2年高崎雄斗君が1000m走と走り幅跳びに出場しました。

見事7位入賞を果たした菅野友愛君は、「今年は練習期間も短く不安でしたが、自主練習をして大会に臨むことができよかったですと思います。次の大会も精一杯自分の力を出し切りたいです。」と話していました。

大崎耕土「世界農業遺産支援」プロジェクト

9月13日(日) 大崎耕土「世界農業遺産支援」プロジェクトの一環として化女沼湿地・里山のボランティア活動に参加しました。この活動は、化女沼の豊かな自然環境を学ぶことができる環境教育ゾーンを市民の皆さんと一緒に創り出していくことを目的としています。生徒会役員・農業クラブの役員11名が草刈りや木の剪定などを行い、午後は講話をいただき、化女沼ダム、居久根の見学をしました。



バイク実技講習会

9月3日(木) 涌谷自動車学校で原付免許取得者実技講習会が行われました。参加した8名の生徒は講師の先生の話に真剣に聞き入り、また実技に取り組んでいました。



中学生一日体験入学

9月12日(土) 中学生一日体験入学が行われ、中学生26名、保護者3名の方々が本校を訪れました。はじめに学校紹介が行われ、その後4つの講座に分かれて授業を体験しました。授業の後には部活動見学・体験が行われました。体験入学後のアンケートでは「南郷高校の魅力が伝わりました。」「部活の先輩が格好良かった。とても楽しかった。」などの意見が聞かれました。



10月の行事予定

- 1(木) 後期始業式①, 衣替え, 服装頭髪検査
2学年修学旅行保護者説明会
～6日(火)面談週間(5分短)
- 5(月)～7日(水)インターンシップ(2年)
- 8(木) 町内清掃⑥⑦(5分短)
- 12(月) SC来校日, 耳鼻科検診⑤(5分短)
- 13(火) 絵手紙教室(2・3年)
- 14(水)～16日(金)マナーアップ運動
- 15(木) 命の大切さを学ぶ教室⑤
- 16(金) 就職選考開始, 第2回各種委員会
- 19(月) 歯科検診①～④
- 20(火) SC来校日
- 21(水) 芸術鑑賞会・PTA研修会
- 22(木) 歯科講話⑥(1年)
- 23(金) ワックスがけ⑦(5分短), SSW来校日
- 27(火) SC来校日
- 29(木) 南郷高祭準備⑤⑥
- 30(金) 午前授業(5分短), 午後各団体準備
- 31(土) 南郷高祭(校内発表)

今月の礼譲和協

学校長より

今月は、国語の教科書などで誰しもが一度は目にしたことがある宮沢賢治の「雨二モマケズ」を紹介し、原文はカタカナが使われていますが、読みやすいようにひらがなに直したものを掲載いたします。

この「雨二モマケズ」は宮沢賢治の没後に手帳の中から発見されたもので、自分自身に向けて書かれたものと言われています。また、「雨二モマケズ」にはモデルがいるとされています。その人は花巻市に在住のクリスチャンで名前を齊藤宗次郎という人だそうです。この当時はクリスチャンであるということだけで迫害を受ける時代で、彼の娘はエスカレートしたクリスチャンの迫害によって死んでしまったそうです。それでも彼はくじけることなく神に祈り続け、子供に会ったらアメ玉をやり、仕事の合間には病気の人のお見舞いをし、励まし、祈り続けたそうです。彼は雨の日も、風の日も、雪の日も休むことなく、町の人達のために祈り、働き続けたそうです。宮沢賢治はまさにこの人

のことを思い、目立たないにも高い理想と平和や安定への強い意志を持った人「そういう者に私はなりたい」と生き方への強い意思表示を示したものと感じられます。世界の平和無くして自分の平和はないと考え、強い願いと祈りの言葉のようなものさえ感じ取れます。宮沢賢治は生前、貧しい農村で働く人たちを助けるべく重労働がたり、身体を壊し享年37歳の若さで他界されました。まさにこの生き方を貫いた人と考えます。

今の時代、無欲に人のためにこれだけ努力する人を探し当てることはできるでしょうか。

私もいつか、人のよろこびのために汗を流せる「そういう者に私はなりたい」と、生きたい。

雨にもまけず

宮沢賢治

雨にもまけず
風にもまけず
雪にも夏の暑さにもまけぬ
丈夫なからだをもち
欲はなく
決して怒らず
いつもしずかにわらっている
一日に玄米四合と
味噌と少しの野菜をたべ
あらゆることを
じぶんをかんじょうに入れずに
よくみききしわかり
そしてわすれず
野原の松の林の蔭の
小さな萱ぶきの小屋にいて
東に病気のこどもあれば
行って看病してやり
西につかれた母あれば
行ってその稲の束を負い
南に死にそうな人あれば
行ってこわがらなくてもいいといい
北にけんかやしょうがあれば
つまらないからやめるといい
ひでりのときはなみだをながし
さむさのなつはオロオロあるき
みんなにデクノボーとよばれ
ほめられもせず
くにもされず
そういうものに
わたしはなりたい